

10 連発式 輪ゴム銃

特徴

- ・ 木工で作る 10 連発式の輪ゴム銃
- ・ 使用する輪ゴム：No.16 サイズ
- ・ 参照した P201-IO にラチェットシア自動リセット機構を組み込んだので、ワンタッチで発射プレートに戻せる。

寸法 380 長×153 縦×幅 27

材料 桧、アガチス、PP

塗装 フレッシュアクリル

費用 778 円（塗装除く）

完成：2012 年 4 月

P201-IO より上位と思われる Model P213 スクエア が気に入ったのだが、この作り方は非公開だったので、ラチェットの所だけを想像でコピーしたのが下のワンタッチ機構です。

発射プレートがこの原点位置にあると、ラチェットシアは引っ込んで、歯から外れているので発射プレートはフリーとなり、トリガーを引くとシアが飛び上がり歯に噛み入ります（チラッと見える白い爪の動きのことです）



Model : P201 -IO (アイオー) OGG CRAFT ' S

（これが作り方を公開してくれている参照モデル）

発射完了後、ラチェットシアを押し下げて、発射プレートを原点に戻す 2 タッチ式（写真は原点に戻った状態）

10 発の輪ゴムを装填したところ



10 個の輪ゴムを装填後、発射プレートピンを一気に引くと、機関銃のように一斉発射することも出来ます。

尚、製作前には、矢印部の隙間は広すぎるかな？と見ていたのだが、トリガーを引いた時に指を挟まない為の隙間だったようです。

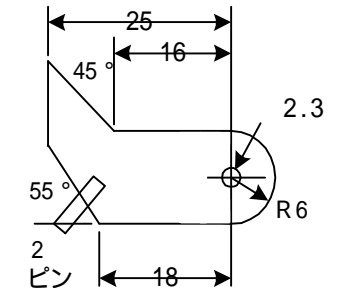
側板を外したところ



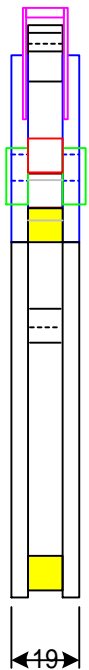
裏話

- ・ 輪ゴムを機関銃のように飛ばしているのを、数十年前にテレビで見たことがあり、その時は「すごい人があるなあ」程度にしか興味が無かったが、木工が多少出来るようになったので挑戦してみたくなった。
- ・ 調べてみると“ゴム銃射撃協会”なるものが存在し、とんでもなく奥の深い人達がいることにビックリ。
- ・ 先ずは、初心者向けに作り方を丁寧に公開してくれている“オグクラフト”様の HP から知恵を拝借することにして、グリップの大きさなど、子ども達が安全に遊べるよう改良の為のたたき台を作ることにした。
- ・ ワンタッチ機構は実現できたし、一番消耗しそうなカムは PP 樹脂で作ったので動きは快調なのだが、このまま子どもに預けるには少し不安な部分もある。（ゴムを逆装填した場合の挙動や、輪ゴムの掛け易さなどを検証してみたい）
- ・ それにしても発射する時の快感はやみつきになります。OGG CRAFT'S 様、素晴らしいアイデアをありがとうございました。

(初回製作機)



ラチェット 9t
3t PP板3枚を合成



- ・トリガーの高さ30では指が痛い 次回32に変更する。
- ・ラチェットカムの押し部は円弧にした方が良さそう（次回検討）
- ・ゴムの引っ掛け深さ5から6に変更した方が掛け易くなりそう。
- ・ゴムの発射プレートは次回曲げの一体で作り、上部は尖る位が良さそう（輪ゴムセット時に引っかかる為）
- ・ラチェット箱の側板は6t板に変更した。
- ・トリガーストロークは調整で13に変更したが、次回は12でOK
- ・グリップからトリガー迄の距離：この寸法では子どもはムリ

保留事項： 部品Aを延長してラチェット爪の背を押してやれば、引きゴムを使わずにトリガーの引き操作で爪を制御できそうだが、今回は保留して小さい輪ゴムで確実に引っ張った。

ラチェットPP板 9t @504 (3t × 80 × 200より成型)
1台分は約¥100

2t アクリル板、1.2t PP板は残材より